

2014.3.7

米軍機事故「異常事態」

関係首長 環境への影響懸念

【中部】6日明らかになった米軍ヘリ着艦失敗事故で、ドック型揚陸艦アンバークが寄港したホワイトビーチの地元・うるま市の島袋俊夫市長は「昨年の宜野座のヘリ墜落事故の際にも、地元の立ち入りが制限された。何が起きているのか、何が危険なのか分からない。もし海に落ちていたら、海産物への影響は計り知れない」と不信感を募らせた。

県、安全徹底要求へ

オスプレイの嘉手納基地への着陸やF15の風防ガラス落下などが相次いでおり「県や各自自治体がびりびりする中で事故の発生は、気の緩みがあるのではないのか。貯油タンクも抱えており、二度と事故を起こしてほしくない」と話した。

米軍普天間飛行場がある宜野湾市の佐喜真淳市長は「事故かどうか分からぬ」としてコメントを避けた。市基地政策部の比嘉秀夫部長は、2日に嘉手納であったMV22オスプレイ

れない」と指摘。

米軍嘉手納基地を抱える嘉手納町の當山宏町長は「部隊は違つとはいえここ最近はまだにも事故が多く、異常な状態だ。県内の訓練が激化している結果ではないか」と語気を強める。「より有効で万全な安全確認をとらなければ県民の不安は払拭できない」と憤った。

(1面参照)

米軍普天間飛行場を発着するヘリの飛行経路になっている中城村の浜田京介村長は「詳細が分からない」とした上で、「事故が相次いでいる中で、事故と疑われる事案が起きることは、再発防止への意識は感じら

「管理しっかりして」知事

米軍普天間飛行場所属のAH1ヘリが、うるま市の米軍ホワイトビーチで揚陸艦への着艦に失敗したトラブルを受け、仲井真弘多知事は6日、「F15といい、頻発気味だ。マネジメント

をしっかりしてもらわないといけない」と述べ、米軍機に関するトラブルが続発していることに不快感を示した。知事は「これ(ヘリの着艦トラブル)が事故かは別

として、ちょっと最近始めている。管理を徹底するとか、ちょっと申し入れしないといけない。もう少し詳細をチェックする」と述べ、県として米軍に申し入れる考えを強調した。